

METOD/メトード キッチンシステム施工について

他社施工・ご自身で施工されるお客さまへ

施工される方へ必ずお渡ししてください。

設置の際は商品に同梱されている組立説明書と本書を併せてご確認ください。

いつでも、どこでも
IKEA オンラインストア



詳しくはこちら
www.IKEA.jp/onlinestore

掲載価格には、消費税が含まれます。また、特に記載がない限り、配送や組み立てなどのサービス料金は含まれません。（ほとんどの商品は組み立てが必要です。）掲載価格は、原材料費や輸送コストの上昇など、やむを得ない事情により予告なく変更される場合があります。本購入ガイドに掲載された商品でも、入荷遅延や在庫不足などにより一時的に提供できないことや、販売を終了することがあります。また、店舗によっては取り扱いのない場合があります。商品の詳しい情報は、店頭のプライスタグまたはIKEA オンラインストア（www.IKEA.jp）で確認できます。また、IKEA オンラインストアの各商品ページから在庫状況をご確認いただけます。ただし、IKEA オンラインストアでは取り扱っていない商品もあります。あらかじめご了承ください。



目次

METHOD/メトード キッチンキャビネットを購入されるお客さまへ	3
壁固定・床固定について	3
お客さまにご用意していただくもの	3
キャビネット、扉、引き出し前部、カバーパネルのサイズについて	3
カットや穴開けの加工が必要なもの	4
キャビネット・脚・扉・カバーパネル・ロールフロントキャビネットについて	4
設備機器について	5
ワークトップ・シンク・水栓について	6
KARLBY/カールビー ワークトップ SKOGSÅ/スコグソー ワークトップ PINNARP/ピンナルプ HOLMARED/ ホルマレド ワークトップ	6
KASKER/カスケル クォーツエンジニアドストーン ワークトップ	7
サスペンションレールを使用したMETHOD/メトードキャビネットの壁への取り付け方法	8
サスペンションレールを使わずにMETHOD/メトード キャビネットを壁へ取り付ける方法	9
奥行き37.6cmのMETHOD/メトード キャビネットへの脚取り付け方法	10
給水/給湯 排水管床立ち上げ位置図	11 ~ 18
SÅGHAJ/ソーグハイ W45 食器洗い機用ベースキャビネット取り付け方法	19 ~ 20
イケア製の水栓をご購入のお客さまへ	21
ワークトップ 調理機器用標準開口寸法	22

METHOD/メトード キッチンキャビネットを購入されるお客さまへ

METHOD/メトード キッチンキャビネットフレームをご購入いただきましてありがとうございます。

METHOD/メトードは組立のみではなく施工をともなう商品ですので、下記のチェックされた項目につきましては、**お客さまご自身での加工が必要となります**。商品に同梱されている「組立説明書」、お渡ししている「キッチン設置のためのDIYガイド」とこの「IKEAキッチン施工について」をご参照のうえ、ご不明な点につきましてはキッチンエリアセールススタッフまでお問い合わせください。

壁固定・床固定について

METHOD/メトードキッチンキャビネットフレームは固定が必要な商品です。安全にご使用いただくため、METHOD/メトードを壁に寄せて設置する場合は壁に固定し、アイランドでご利用いただく場合は床に固定してください。

壁、床にはさまざまなタイプがあります。ご自宅の壁材、床材に適した金具をお選びください。

壁固定の場合、下地工事が必要な場合があります。専門家（工務店など）に必ずご相談ください。

お客さまにご用意していただくもの

☐ 壁、床に固定するためのビス

サスペンションレールを使う場合はΦ5.0mmくらいのトラスネジを用意ください。

ビスの長さは下地によって変わりますが、55～60mm程度を目安にお選びください。

☐ ワークトップを固定するためのビス

奥行き37.6cmのウォールキャビネットにワークトップを使用する場合（35mm程度のネジが必要）

☐ 奥行き37.6cmのウォールキャビネットを床に置いて使用する場合は脚取り付けのためのビス （4、10ページ参照）

☐ フィラー材取付のためのビス Φ3mm×35mm程度

☐ フィラー材取り付けのための25～35mm角の角材

☐ カバーパネルをウォールキャビネット下に、取り付ける場合付属のビスまたは、同等品（長さ27mm程度）をご用意いただき、キャビネット内側から、ビス固定してください。また、固定の補助として、厚手の建築用両面テープを併用願います。

☐ KASKER/カスケル クォーツエンジニアドストーンワークトップは接着固定となります。指定のシーリング材・接着材をご用意ください。

推奨接着剤：

（キャビネット・シンク接着用）株式会社タイルメント シリコンシーリング材アークシールS-100J 防カビ剤入り
（ウォーターフォール側面接着用）セメダイン株式会社 変成シリコン樹脂系弾性接着剤タイルエース石材用

キャビネット、扉、引き出し前部、カバーパネルのサイズについて

METHOD/メトードキャビネット：

奥行き（扉含まず）：ウォールキャビネットは約376mm、ベースキャビネットは約415mm または、600mm。
（L金具10mmを含むサイズです。実寸は各10mmずつ小さくなります。）

幅：キャビネットの種類によって異なります。

扉、引き出し前部：

材質、仕上げによって厚みが異なります。

カバーパネル：

W390×H860、W390×H840、W390×H800、W630×H800、W630×H2200の5種類 （プランにより現場で、カットして使用して下さい）※アイランドキッチンの場合は、床からカウンター下までの寸法を測り、H220cmのパネルをカットして2枚取りして下さい。

材質、仕上げによって厚みが異なります。

扉または引き出しを付けた総奥行きは、キャビネットの奥行き＋扉または引き出し前部の厚みで決まります。イケアのキャビネットはすべて組み立て式です。ネジの締め具合などにより、仕上がりサイズが若干前後する場合があります。

ワークトップとのチリを計算したり、タイルの割付などを計算する場合は、ご注意ください。

詳細はセールススタッフにご確認ください。

カットや穴開けの加工が必要なもの

・カットが必要なもの

- ☐ ワークトップ 幅・奥行き

(メラミン、突き板、プレカットワークトップ)

- ☐ カバーパネル・フィラー/幕板 (カバーパネルをカットして使用)

※RINGHULT/リングフルトのパネルをカットする場合は、あらかじめ養生テープでマスキングする必要があります。

- ☐ 蹴込み板

※3cm脚用のコーナー部は、45°に切断して下さい。また、脚と干渉する箇所は切り欠くか、脚のベースプレートとキャビネットの間に挟んでください。

- ☐ サスペンションレール

- ☐ デコストリップ

- ☐ ME組み立てキット、アイランド用

・穴開けが必要なもの

- ☐ 取っ手 取付穴

- ☐ ワークトップへのシンク・コンロ・水栓金具等 取付穴

- ☐ 給排水管立ち上げ用のキャビネット底板または、背板への穴開け

- ☐ ガス配管又は、IHコンセント用の背板への穴開け

- ☐ KASKER/カスケル クォーツエンジニアドストーンワークトップのサポートでUTBY/ウートビー 脚を取り付ける場合は、ワークトップに埋め込むナットの穴径 (Ø6.5程度) に合わせ、現場で脚座金の開口を広げる加工が必要です。

キャビネット・脚・扉・カバーパネル・ロールフロントキャビネットについて

・METHOD/メトード 脚を使用する場合

- ☐ 製品に付属の組み立て説明書は全世界で共通です。組み立て説明書には、キャビネットを連結して設置する際に連結部の中心に脚を取り付けるように説明されていますが、日本では、耐荷重を増し、レベル調整が簡単にできるよう、1つのキャビネットに4本の脚を取り付けるようご案内しています。キャビネット1つにつき、脚を4本取り付けてお使いください。ただし、幅15cmのキャビネットには脚を2本取り付けてください。また、コーナーキャビネットには脚を9本取り付けてください。

・CAPITA/カピタ 脚を使用する場合

- ☐ METHOD/メトード 脚と同様、キャビネット1つにつき、脚を4本取り付けてお使いください。ただし、幅15cmのキャビネットには取り付けプレートを2つ並べて取り付けられません。この場合は連結部の中心に脚を取り付けるか、プレート位置をずらして取り付けてください。
床固定をする場合、床暖房設置部分には使用できません。

・3cm脚を使用する場合

- ☐ 蹴込板は、キャビネットを壁に固定する前に底部にネジにて取り付けてください。1キャビネットごとに切れ目が入ることになります。

・奥行き37.6cmのウォールキャビネットを床に置いて使用する場合

- ☐ METHOD/メトード 脚の取り付けについては、突起部分をカットしてキャビネットに取り付ける必要があります。「IKEAキッチン施工について」の10ページをご参照ください。（取付用ビスは別途ご用意ください。直径4mm×15mm）
- ☐ 最上段に引き出しを取り付ける場合、同梱包の白いプラスチックカバーは取り付けません。

・扉にヒンジ（蝶番）を取り付ける場合

- ☐ 扉に掘られているヒンジ（蝶番）取り付け用カップの上下に小さな穴が2ヶ所開いています。
この穴は、ヒンジの位置がずれないように位置を決めるための穴です。
ヒンジはカップに収めた後、ふたを閉じると、中で部品が開き抜けなくなります。ビスで留める必要はありません。

・UTRUSTA/ウートルスタ ヒンジ水平用のアーム調整法

- ☐ 開閉時に扉を任意の位置で止めるためには、組み立て説明書に記載の通りにバネの強さを調整する必要があります。出荷時は一番緩い状態のため、扉を上で止まるようにするためには数十回まわす必要がありますので、様子を見ながらまわしてください。
- ☐ トルクスドライバーT20をご用意ください。

・カバーパネル、UTRUSTA/ウートルスタ 引き出し式収納アクセサリーを
幅15cmのキャビネットに取り付ける場合。

- ☐ 幅15cmのキャビネットの場合、カバーパネル 引き出し式収納アクセサリーをあらかじめ側板に取り付けてからキャビネットを組み立てるとスムーズです。

設備機器について

・SÅGAJ/ソーグハイ DW45 食洗機について

- ☐ 19ページの取り付け方法を参照願います。

ワークトップ・シンク・水栓について

・キャビネットにシンクを取り付ける場合 ・キャビネットにフィッシュグリルなしのコンロを取り付ける場合

- ☐ キャビネット上部の金属製上棧（前・後）の替わりに別パーツ【ME強化Tレール】を取り付けてください。

・排水管を高圧洗浄する場合

- ☐ LILLVIKEN排水トラップ（メラミン/突き板/ワークトップ用）は、排水口から洗浄ノズルを入れての高圧洗浄には対応していません。集合住宅で配水管の定期高圧洗浄がある場合は、配水管の床付近に点検口を設けて対応する必要があります。高圧洗浄の有無を管理組合に必ずご確認ください。
- ☐ カスタムメイドワークトップシンク用排水トラップ（ステンレス/クォーツエンジニアドストーン用）は排水口から洗浄ノズルを入れての高圧洗浄に対応する場合は、蛇腹ホースを現場にて直管接続に交換する必要があります。直管部材はイケアでは取り扱っていませんので、工務店さまにご相談下さい。

・水栓をワークトップに取り付ける場合

- ☐ 支給品水栓の場合、ワークトップの厚みに対応できない場合があります。その場合、ワークトップ裏面からノミやドリル刃等で対応の厚さに削る必要があります。（水栓の取り扱い説明書を必ずご確認ください）

KARLBY/カールビー ワークトップ SKOGSÅ/スコグソー ワークトップ PINNARP/ピンナルプ HOLMARED/ホルマレド ワークトップ

- ☐ 厚単板の突き板のワークトップは、あらかじめハードワックスオイルを塗布してあるため、表面に傷が見られないうちは、保護材を施す必要がありません。ただし、次の場合は、STOCKARYD/ストックアリード トリートメントオイルを塗布して下さい。

- ・表面に痛みが見えてきたとき。撥水効果が落ちたとき。
- ・切り口に貼付けた、木口テープ、およびサンディングを行った箇所。

・お手入れ

ワークトップの耐久性を保つために、年に3-5回オイルでお手入れしてください。シンクやコンロに接している面は乾きやすいため、もう少し頻繁にお手入れする必要があります。

注意：自然発火の危険を防ぐために、使用したブラシ、道具は水と石鹼で洗い、布は水につけてください。

上記のお手入れをしていただいても、天然木の特性上、使用環境によっては反り・ひび割れが生じることがあります。ご了解のうえご購入ください。

・他のオイル、仕上げ材を使う場合

1. 施工店、ホームセンター等に用途をご説明いただき、亜麻仁油などをベースにした自然塗料の木製品用トリートメントオイル（屋内用）、もしくはニスなどの仕上げ材をお求めください。その際、表面のハードワックスオイルをサンディングしてから仕上げて下さい。
2. 使用に際しては、商品の取り扱い説明書を必ずご確認ください。

ワークトップとキャビネット及びシンクは接着固定となります。指定のシーリング材・接着材をご用意ください。

推奨接着剤：

キャビネット/シンク接着用 株式会社タイルメント シリコンシーリング材アークシールS-100J 防カビ剤入り
 ウォーターフォール接着用(側面接着) セメダイン株式会社 変成シリコン樹脂系弾性接着剤タイルエース石材用

シンク取り付けについて

- ・シンク取り付けに使用する金物や位置は、ワークトップに同梱の図面と組み立て説明書を必ずご確認ください。
- ・オーバーシンクは種類により、そのまま取付金物がつけられない場合があります。
 その場合はワークトップに同梱のフィラーピースをワークトップ裏に固定のうえ、取付金物との間に挟んで取り付けてください。

フィッシュグリル付きコンロとの組み合わせについて

- ・コンロ/フィッシュグリル横にUTRUSTA/ウートルスタ 引き出し15×60を取り付ける場合、ワークトップへの固定は接着となります。ビス穴は使用しません。
- ・コンロ/フィッシュグリルとワークトップの隙間用フィラーピース(クォーツ材)は、ワークトップに同梱されています。同梱のねじで取り付けてください。

ワークトップのサポートでUTBY/ウートビー 88脚を取り付ける場合

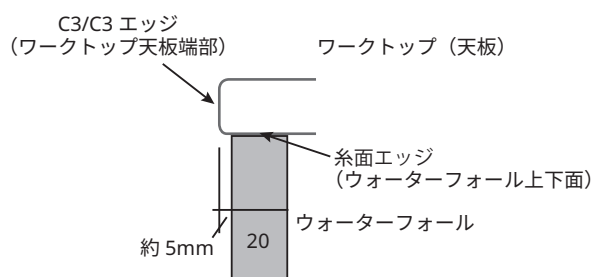
ワークトップに埋め込むナットの穴径(Φ6.5程度)に合わせ、現場で脚座金の下穴開口を広げる加工が必要です。

KASKER/カスケルクォーツエンジニアドストーンワークトップは現場でのカットや穴あけ、研磨はできません。

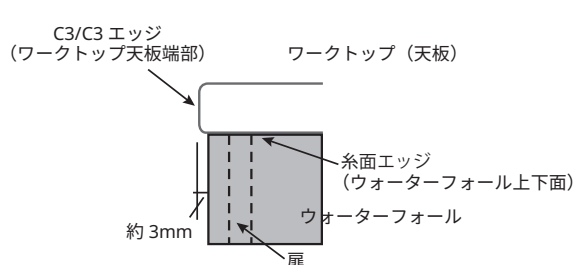
ウォーターフォール(側面床立ち上げ)施工について

ウォーターフォールは、床から垂直にワークトップ(天板)勝ち(3 - 5mm天板が飛び出る)でT字型に立ち上げ、原則キャビネット側面とワークトップ(天板)に接着で固定します。デフォルトでは、床からの高さは832 (3cm脚) / 882 (8cm脚)で指示しますが、現場調査で床の不陸を確認し、慎重に寸法を調整する必要があります。

<正面>



<側面>



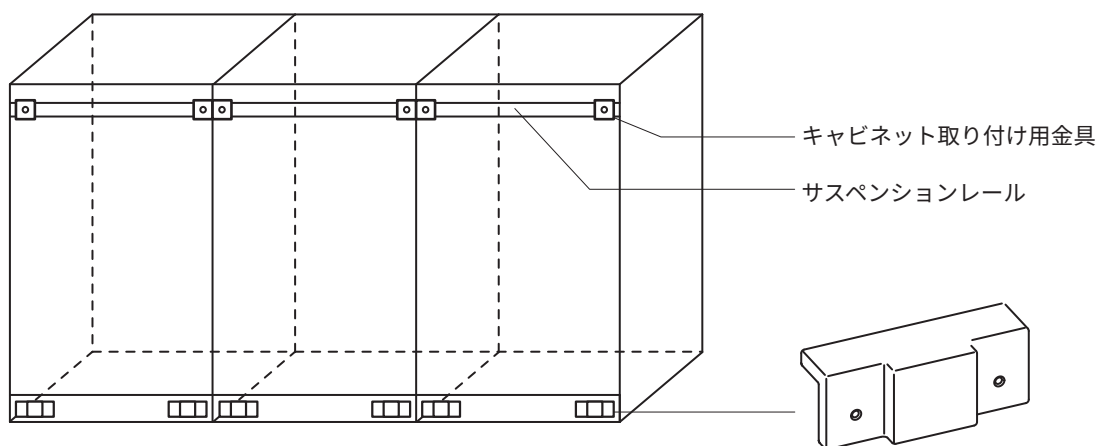
サスペンションレールを使用したMETHOD/メトードキャビネットの壁への取り付け方法

ウォールキャビネット、ハイキャビネット、ベースキャビネットともに上部に1本ずつ使用します。
幅2000mm以上の場合は、横に継いで延長します。レールを壁に固定するネジは梱包されておりません。
壁の下地状況に合わせてお客さま（施工店）にてご用意ください。
・キャビネット上端寸法から、60mmマイナスした箇所が、サスペンションレールの下端位置となります。

ウォールキャビネット（3個の例）

- ・キャビネット上部に取り付けた、L金物をサスペンションレールに引っ掛けて固定します。
キャビネット背面下部には、付属の白色樹脂製パーツを釘止めします。

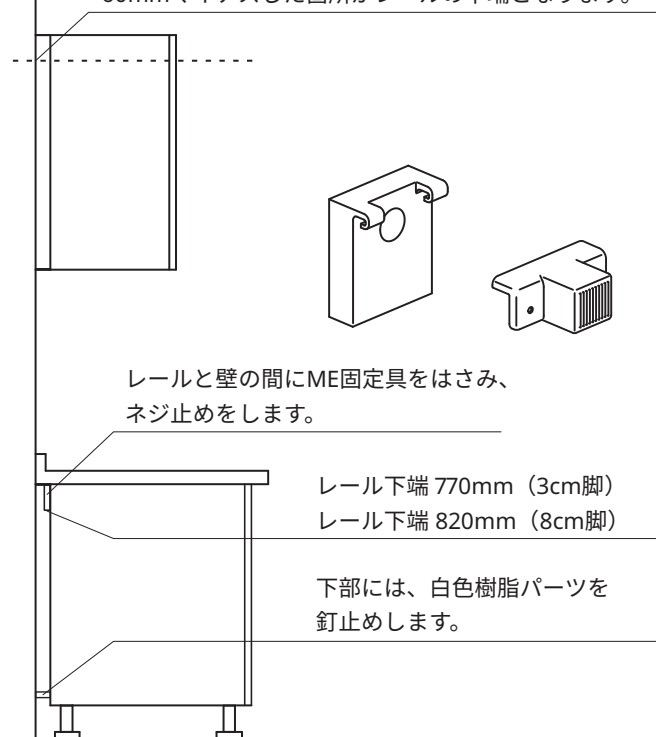
キャビネット幅の総寸法より20mmほど短くサスペンションレールを切断します。壁のねじが効く下地を探し、ご用意いただいたねじで壁に固定して下さい。



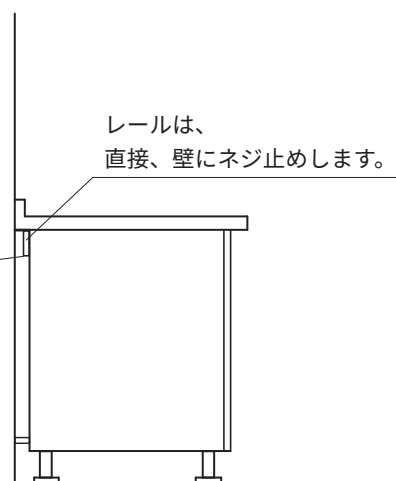
ベースキャビネット（カウンターD650の場合）

キャビネット上端寸法から、
60mmマイナスした箇所がレールの下端となります。

- ・RENLIQ/レーンリグDW45食洗機を取り付ける場合は、19ページを参照願います。



ベースキャビネット （カウンター D450の場合）

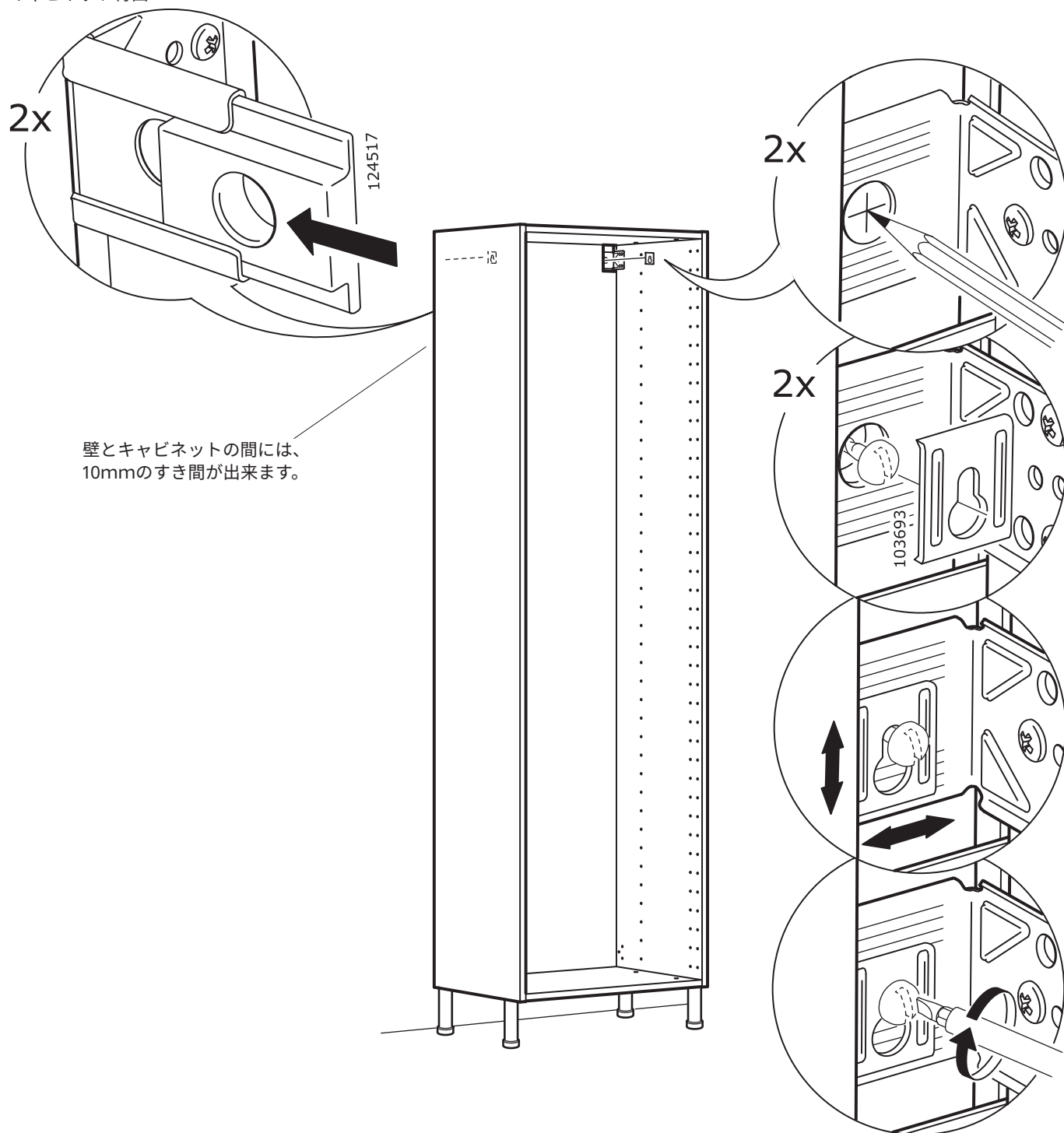


サスペンションレールを使わずに METOD/メトード キャビネットを 壁へ取り付ける方法

(壁の下地については、3ページの「壁固定・床固定について」
と「壁に固定するためのビス」をご覧ください。)

推奨ビスサイズ：直径4~5mm × 長さ55~60mm

キャビネット背面



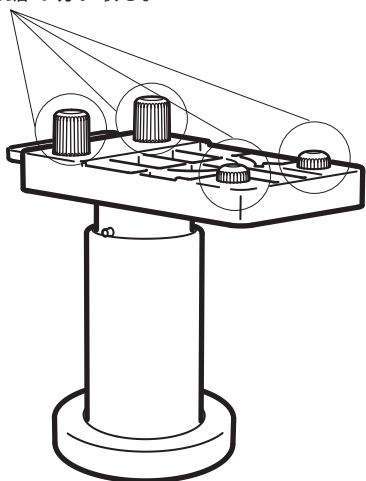
*こちらの絵では、ハイキャビネットを使用しておりますが、
取り付け方法は全てのキャビネットに共通です。

奥行き37.6cmのMETHOD/メトード キャビネットへの 脚取り付け方法

CAPITA/カピタ 脚またはUTBY/ウートビー 脚の使用をおすすめします。METHOD/メトード 脚 (102.710.29) を使用する場合は下記寸法をご参照ください。

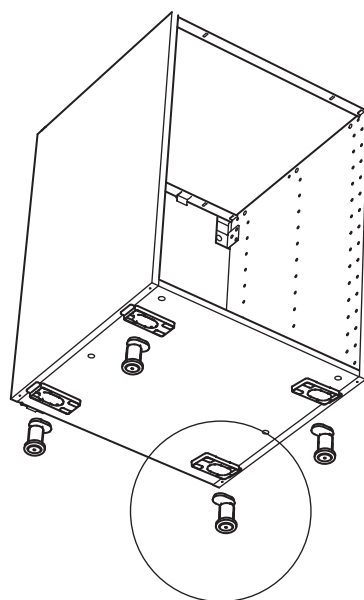
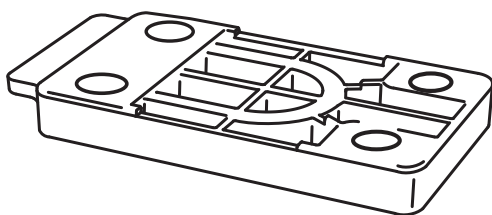
1

この部分を鋸で切り取る。



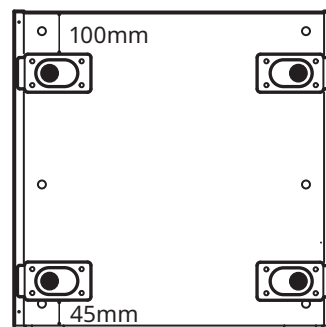
2

①で切断した後に出来る穴に
Ø4mm×15mmのネジを使用して固定。
このネジはパッケージに含まれていません。



取り付け位置

前面



背面

給水/給湯 排水管床立ち上げ位置図

● 給湯 ○ 給水 ⊗ 排水 シンクセンターライン

- 排水管はVUまたはVP管（φ50）となります。（床から150mm立ち上げてください）
- 排水管立ち上げ位置にはVARIERA/ヴァリエラ シリーズのゴミ箱収納などを設置できません。
- 図は奥行き寸法が650mmの場合です。カウンター奥行き寸法が異なる場合は、シンク位置をご確認のうえ算出してください。

給水/給湯 床立ち上げの場合

止水プラグ止めの場合はFL+250mm
 ストレート形止水栓を取り付ける場合は
 キッチンH870mm → FL+500mm
 キッチンH920mm → FL+550mm

給水/給湯 壁出しの場合

壁出し位置

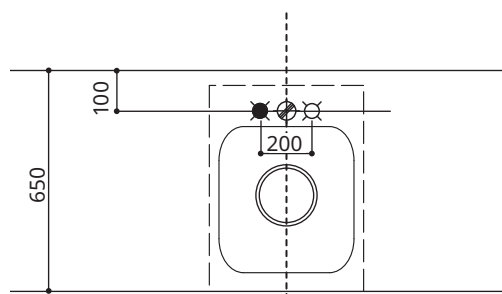
キッチンH870mm → FL+570mm
 キッチンH920mm → FL+620mm

壁から50mm以上のばして止水プラグを
 取り付けてください。

※ハンドシャワー水栓を選択した場合は、
 止水栓のハンドルが無いタイプを選ぶ又は、
 止水栓のハンドルの向きに注意し止水栓とシャワーホースが干渉しないよう
 設置してください。

※給排水の背面からの寸法100mmは、床・
 壁出し配管寸法であり、カウンタートップの
 水栓穴あけ位置ではありません。

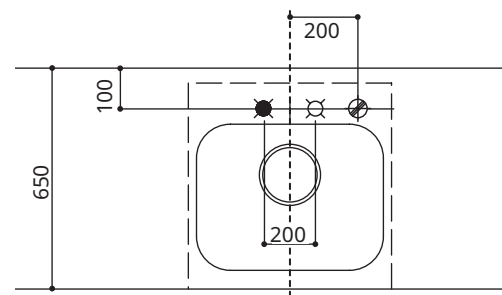
TISJÖN/ティショーン (804.387.90/004.374.31/105.921.10)
 43 シンク タテ置き: W312mm×D400mm



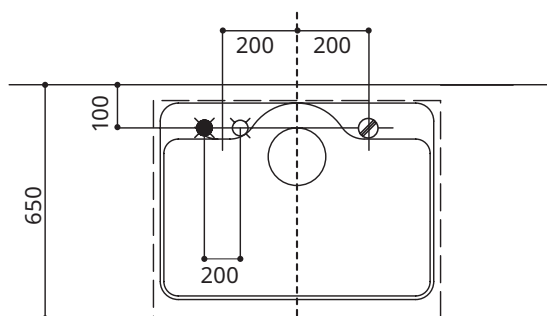
40cm幅のMETHOD/メトード ベースキャビネットに310G
 シンクを組み合わせる場合は、縦位置となります。

TISJÖN/ティショーン (404.387.92/704.374.37)
 55 シンク W550mm×D430mm

TISJÖN/ティショーン (804.387.90/004.374.31)
 43 シンク ヨコ置き: W400mm×D312mm
 ※幅、奥行き方向が逆でも設置できます。

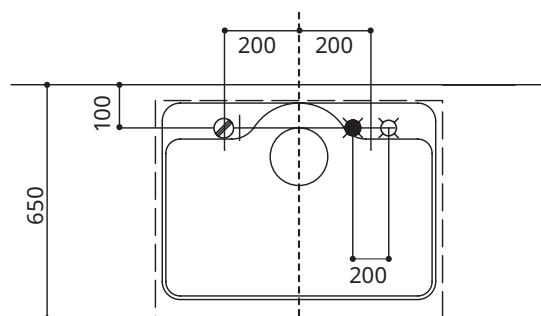


TISJÖN/ティショーン (104.387.84/804.373.85/406.010.90)
 77 シンク W744mm×D500mm



水栓（左付けの場合）

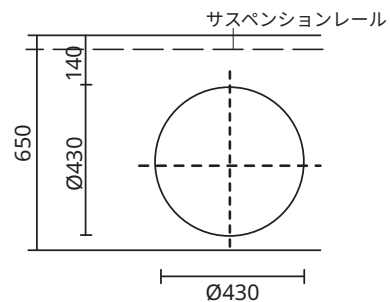
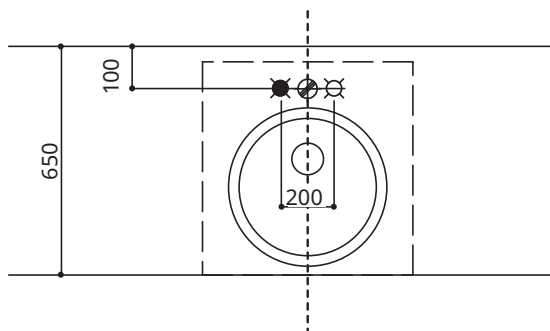
TISJÖN/ティショーン (104.387.84/804.373.85/905.921.11)
 77 シンク W744mm×D500mm



水栓（右付けの場合）

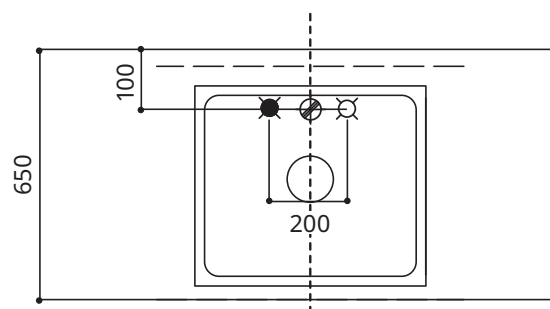
BOHOLMEN/ボーホルメン (302.134.82)
シングルボウルはめ込み式シンク Ø450mm

メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置



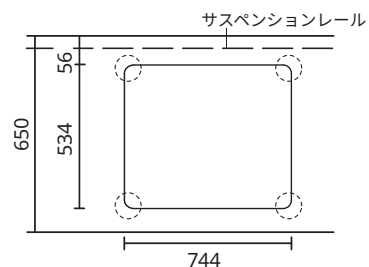
BOHOLMEN/ボーホルメン (002.021.21)
シングルボウルはめ込み式シンク W760mm×D550mm

メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置



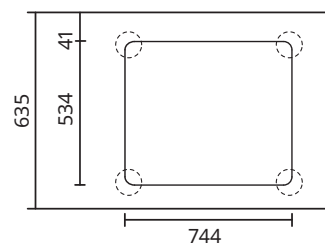
* 排水管高圧洗浄対応用に排水トラップ310Gシンク用 (601.523.83) を選択し、現場にて直管接続を行う場合は310Gシンクヨコ置き立ち上げ位置 (P.11) をご参照ください。

ME固定具 (15mmスペーサー) あり



○ シンクコーナーはR10で加工してください。

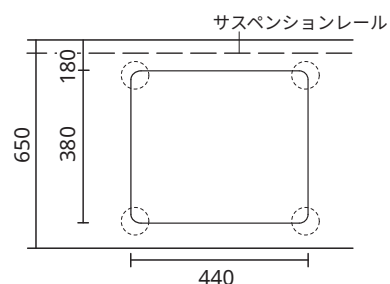
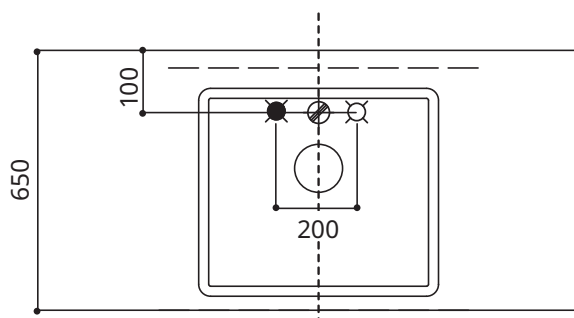
ME固定具なし



○ シンクコーナーはR10で加工してください。

FYNDIG/フィーンディグ (102.021.25)
シングルボウルはめ込み式シンク W450mm×D390mm

メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置

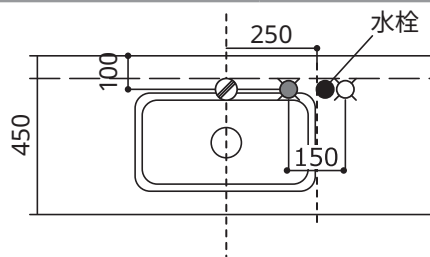


○ シンクコーナーはR105で加工してください。

BOHOLMEN/ボーホルメン
シングルボウルはめ込み式シンク

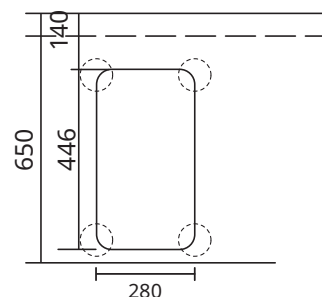
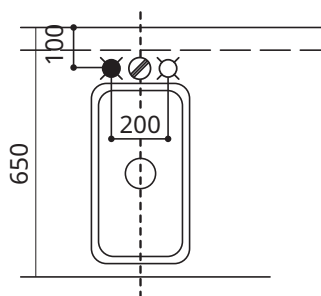
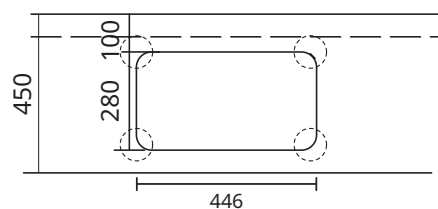
(002.705.15)
W466±1mm×D300±1mm

メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置



* 下部キャビネット内のスペースが限られるために、
水栓は、ホース引き出し式以外を推奨いたします。

W800キャビネットに取付可

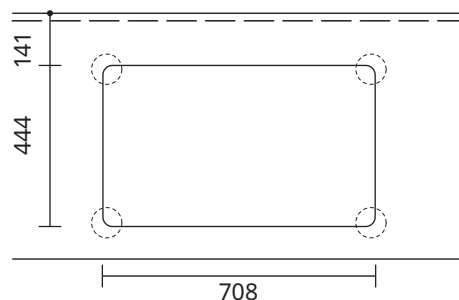
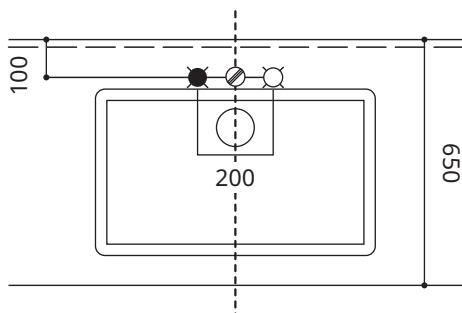


○ シンクコーナーはR80で加工してください。

KILSVIKEN/シルスヴィーケン72 (104.460.34/006.078.57/104.460.34)
はめ込み式シンク 1ボウル

W720×D460

メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置

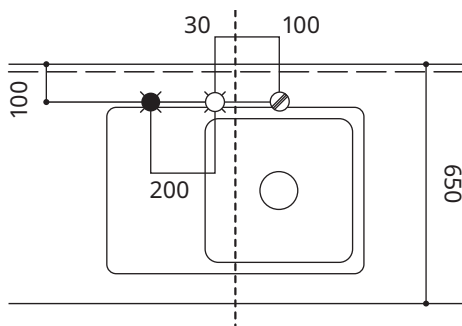


○ シンクコーナーはR20で加工してください。

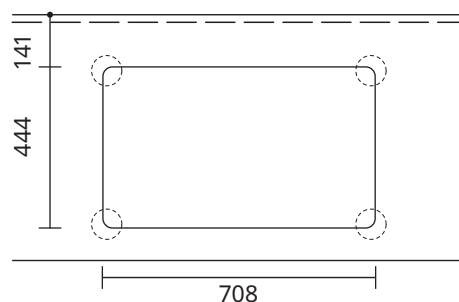
KILSVIKEN/シルスヴィーケン72 (004.611.62)
はめ込み式シンク 1ボウル水切り付

W720×D460

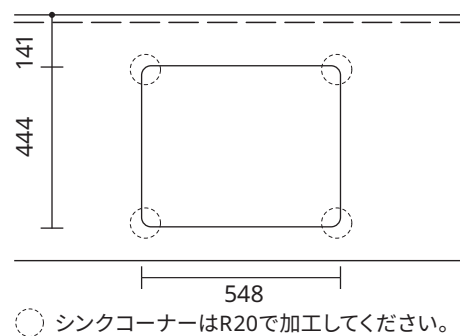
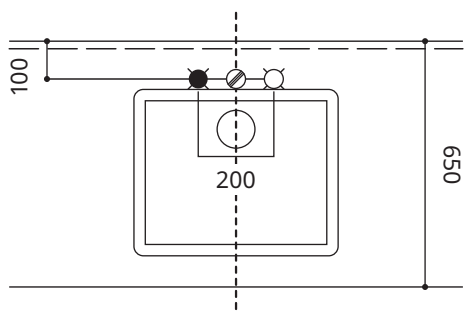
メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置



水切りが右側になる場合は、給排水は左右反転となります。

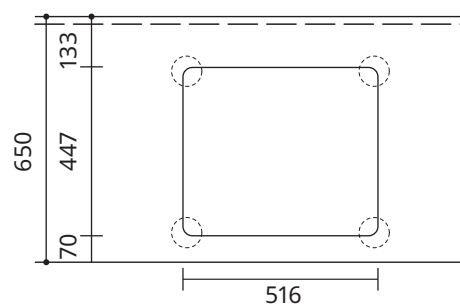
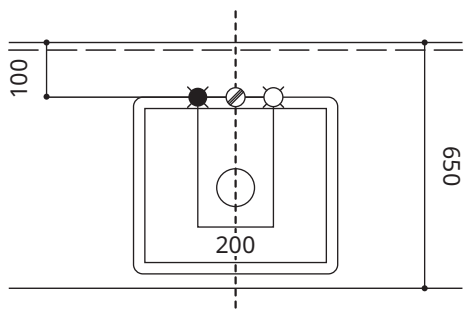


○ シンクコーナーはR20で加工してください。



HAVSEN/ハブセン (303.778.45)
 シングルボウルはめ込み式シンク W535mm×D467mm

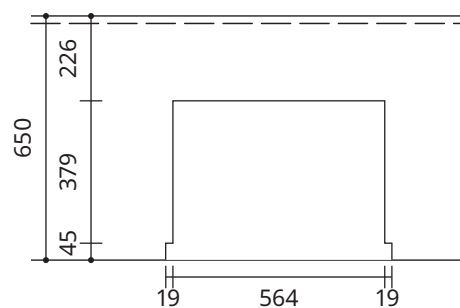
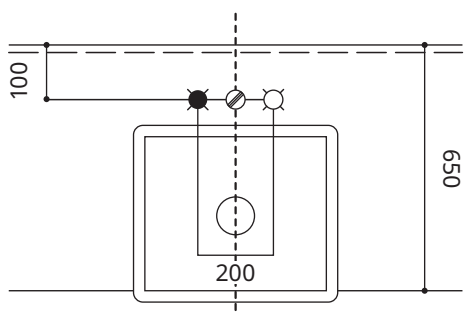
メラミン・無垢カウンター
 シンク穴開け位置



○ シンクコーナーはR30で加工してください。

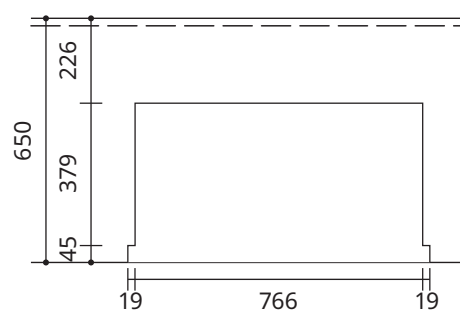
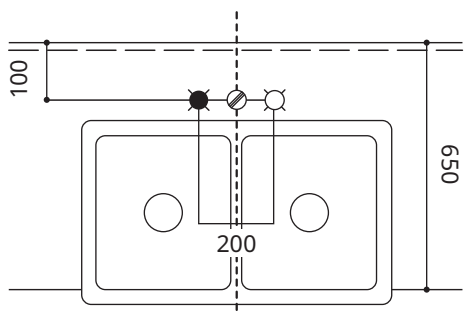
HAVSEN/ハブセン (803.592.31)
 シングルボウル W615mm×D484mm

メラミン・無垢カウンター
 シンク穴開け位置



HAVSEN/ハブセン (503.592.18)
 ダブルボウル W816mm×D484mm

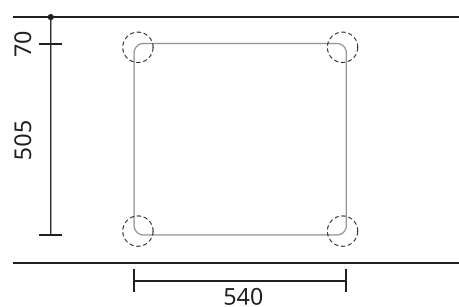
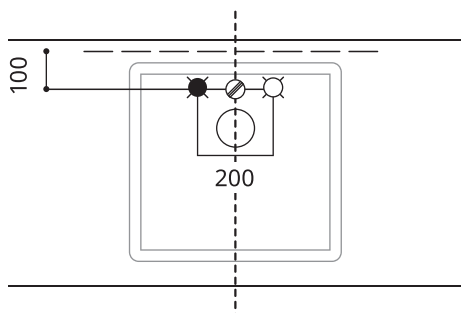
メラミン・無垢カウンター
 シンク穴開け位置



LÅNGUDDEN/ロングウッデン56
シングルボウルはめ込み式シンク

(003.249.76)
W560mm×D525mm

メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置

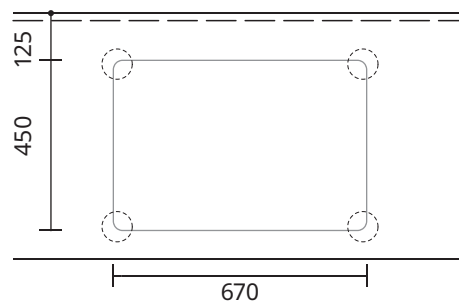
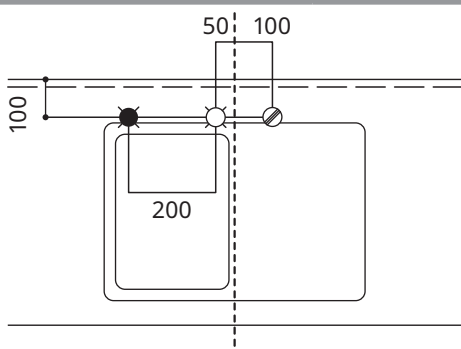


○ シンクコーナーはR10で加工してください。

VATTUDALEN/ヴァトゥダーレン69
はめ込み式シンク 1ボウル 水切り付き

(803.249.82)
W690mm×D470mm

メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置

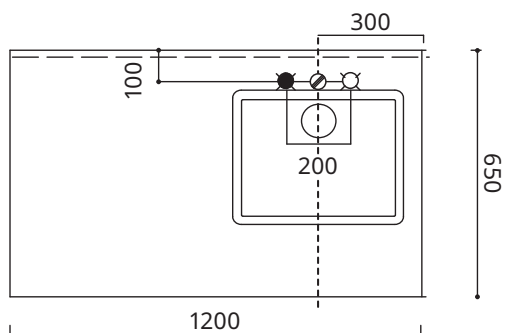


○ シンクコーナーはR10で加工してください。

* 左右反転もできます。

OLOFSJÖN/オロフション120×56
ワークトッパー体型シンク

(404.951.03)
W1200mm×D650mm

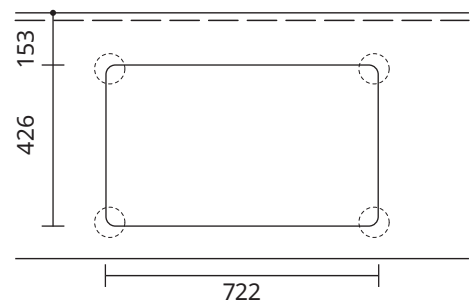
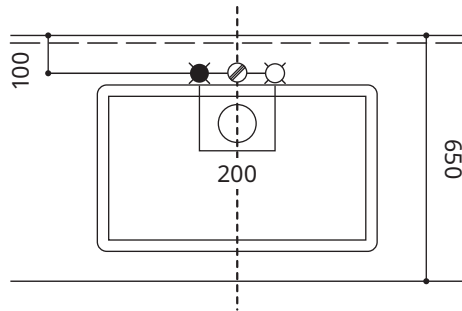


左右反転もできます。

VRESJÖN/グレション73
はめ込み式シンク 1ボウル

(205.046.22)
W734mm×D438mm

メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置

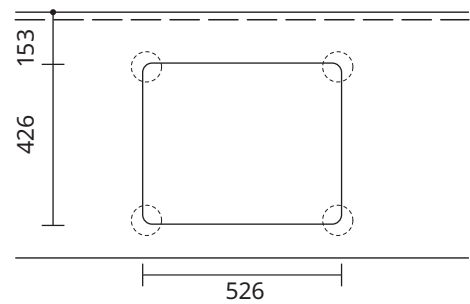
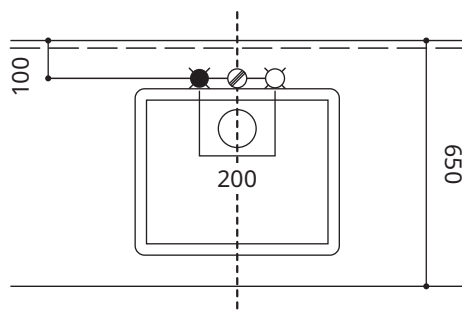


○ シンクコーナーはR12で加工してください。

VRESJÖN/グレション54
はめ込み式シンク 1ボウル

(205.046.17)
W538mm×D438mm

メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置

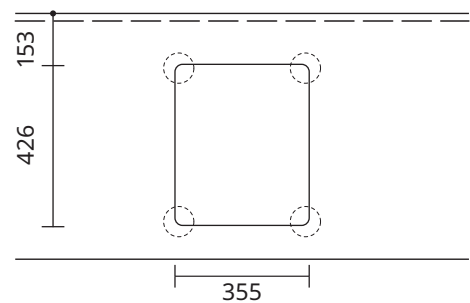
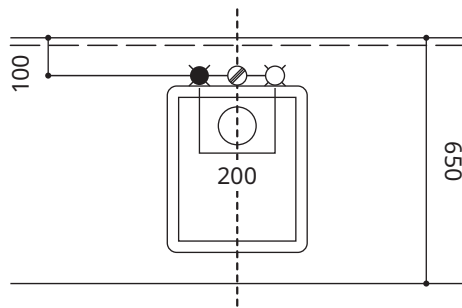


○ シンクコーナーはR12で加工してください。

VRESJÖN/グレション37
はめ込み式シンク 1ボウル

(205.045.37)
W367mm×D438mm

メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置

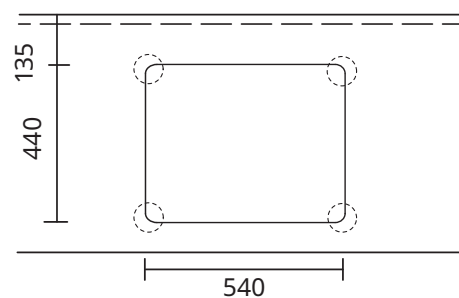
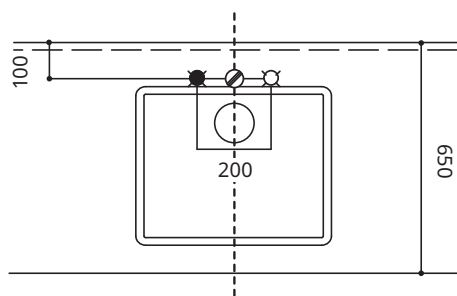


○ シンクコーナーはR12で加工してください。

HILLESJON/ヒッレション56
はめ込み式シンク1ボウル

(105.043.40)
W560mm×D460mm

メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置

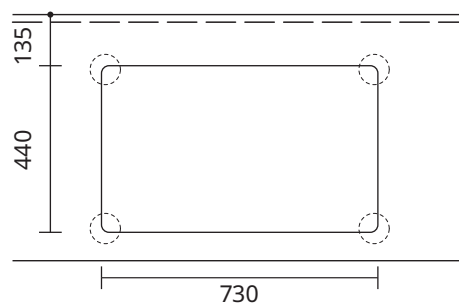
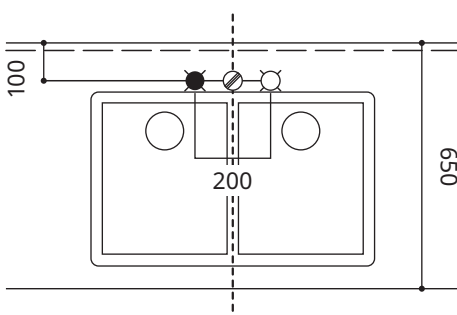


○ シンクコーナーはR20で加工してください。

HILLESJÖN/ヒッレション75
はめ込み式シンク 2ボウル

(503.249.88)
W750mm×D460mm

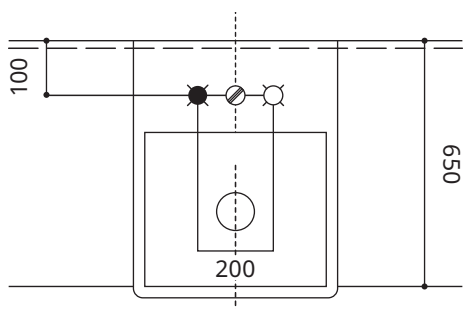
メラミン・無垢カウンター
シンク穴開け位置



○ シンクコーナーはR20で加工してください。

TALLSJÖN /タルション
フロント見せタイプ

(905.498.39/705.498.40)
W600/800mm×D665mm

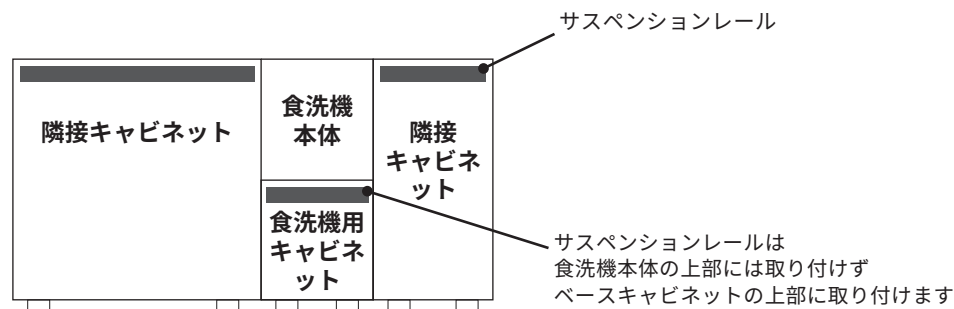


SÅGHAJ/ソーグハイ W45 食器洗い機用 ベースキャビネット取り付け方法

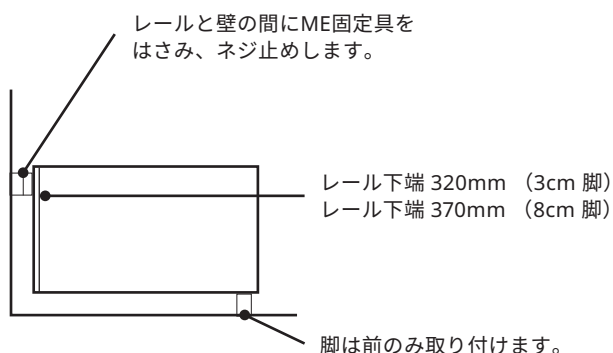
I型・L型キッチンの場合

MEサスペンションレールとME固定具を背面壁に、ネジ止めます。

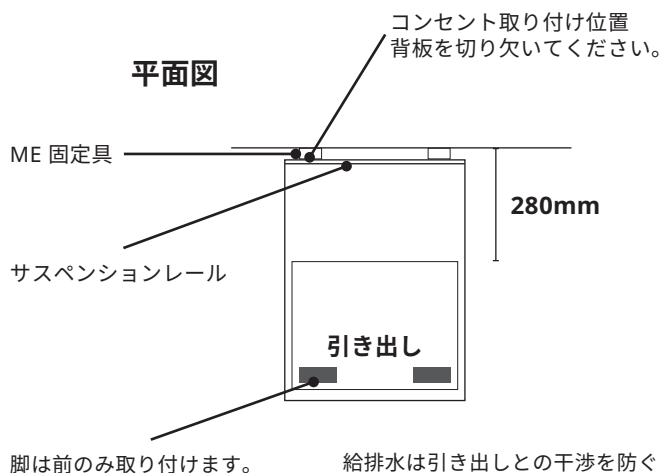
(食洗機用キャビネット組み立て説明書行程13補足)



断面図



平面図



給排水は引き出しとの干渉を防ぐため、背面壁より280mmの内に収めてください。
詳細につきましては、食洗機の工事説明書を参照願います。

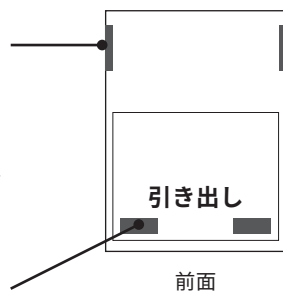
アイランドキッチンの場合

脚取付について

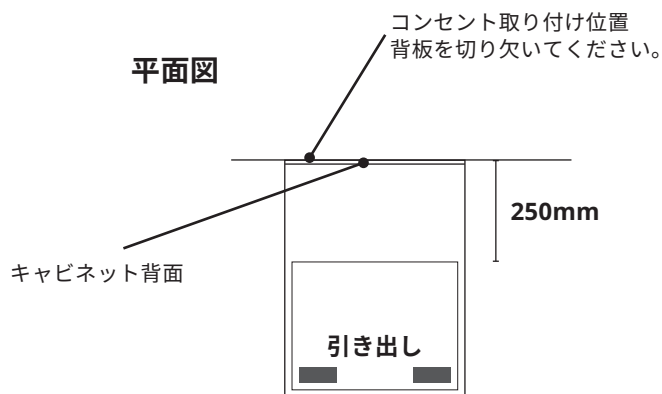
後脚: 8cmの時
80mmの木材をご用意いただき床との間に挟んで下さい。

後脚: 3cmの時
30mmの木材をご用意いただき床との間に挟んで下さい。

前脚:
前脚のみ、ME 脚を取り付けます。



平面図



給排水は引き出しとの干渉を防ぐため、キャビネット背面より250mmの内に収めてください。
詳細につきましては、食洗機の工事説明書を参照願います。

2025年7月現在販売中の404.192.27 VÅRSTA/ヴォールスタ 食洗機用フロントパネル2枚S
45x80 ステンレススチール JPは、ねじ下穴位置が旧仕様品となっております。
506.273.63 SÅGHAJ/ソーグハイ食器洗い機用に取り付ける際は、メーカー取付設置説明書
の5ページに記載の図(下記)に従って、現場で下穴を開けていただけますようお願いいたし
ます。

■面材寸法／ネジ下穴寸法
t=14.5~21.5

The drawing shows a rectangular plate with the following dimensions and features:

- Overall width: 446
- Overall height: 410
- Inner width (between vertical centerlines): 321
- Inner height (between horizontal centerlines): 386
- Four holes are located at the corners, with a specification of $8 \times \phi 2.5$ and a depth of 12 (深さ12).
- Horizontal spacing from the left edge to the first hole centerline is 20.
- Horizontal spacing between the two hole centerlines is 247.
- Horizontal spacing from the second hole centerline to the right edge is 20.
- Vertical spacing from the top edge to the first hole centerline is 12.
- Vertical spacing between the two hole centerlines is 19.5.
- Vertical spacing from the second hole centerline to the bottom edge is 12.

イケア製の水栓をご購入のお客さまへ

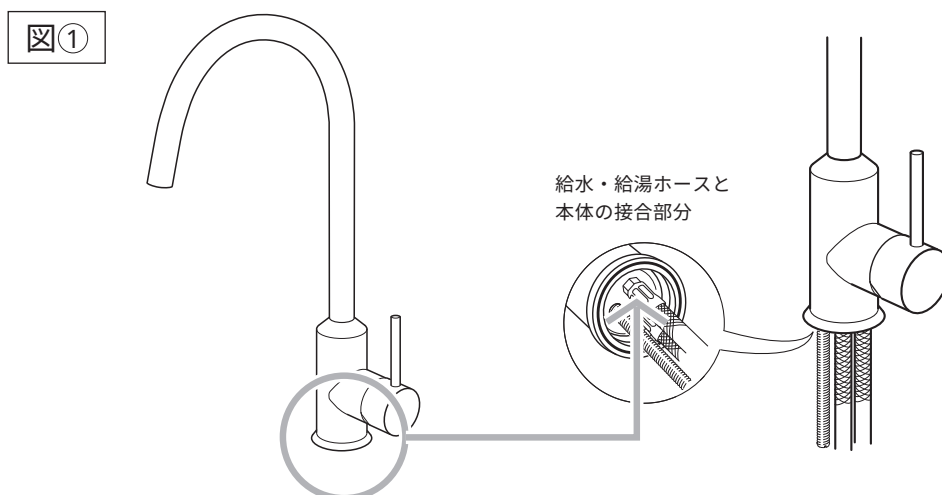


イケア製の水栓を取り付ける際は、まず初めに、水栓自体のパーツ接合部分すべてがしっかりと締まっていることを確認してから取り付けを行ってください。

特に下記の接合部分は、定期的に水漏れがないか点検してください。

▶ 給水、給湯ホースが本体へ接合している部分（図①参照）

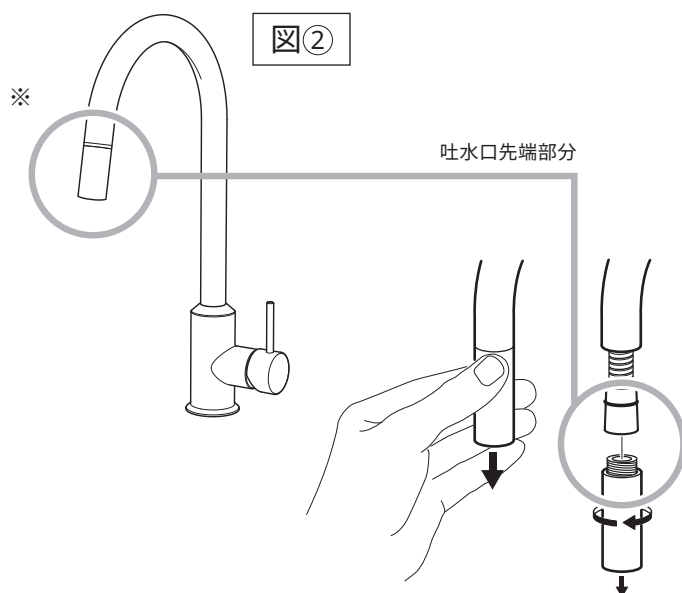
ネジ式で接合されていますので、手でホース先端を回し、しっかりと締めてから設置して下さい。



▶ ホース引き出し式の場合

吐水口先端部分（図②参照）、引き出しホースと本体接合部分（図③参照）はネジ式で接合されていますので、しっかりと締めてから設置して下さい。

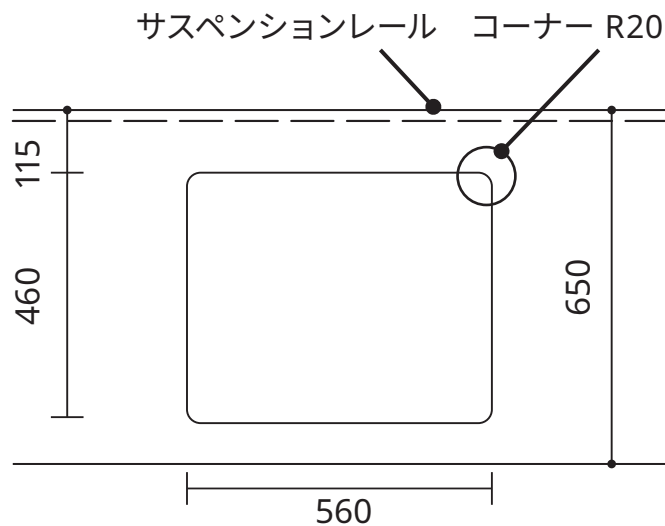
※ご使用時、定期的に緩みがないかご確認下さい。緩むと水洗内部を水が逆流しキャビネット内部へ水漏れするおそれがあります。



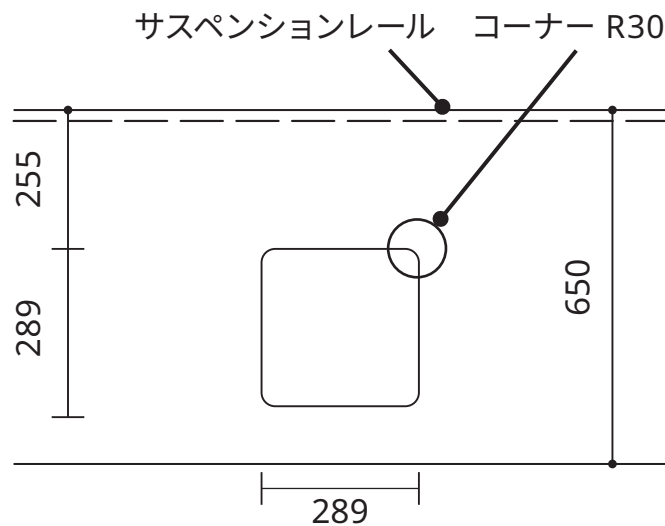
ワークトップ 調理機器用標準開口寸法

プレカットワークトップの場合下記寸法を参考に、穴をあけてください。
カスタムメイドワークトップは指定の場所にあらかじめ穴をあけた状態で納品されます。

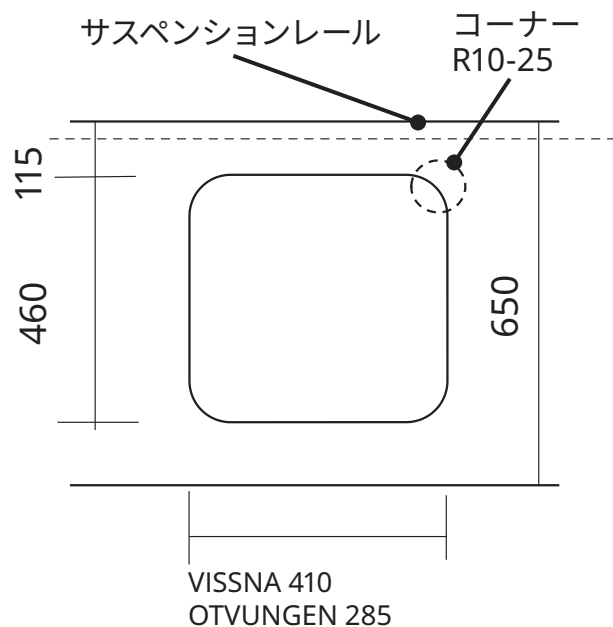
3口コンロ共通



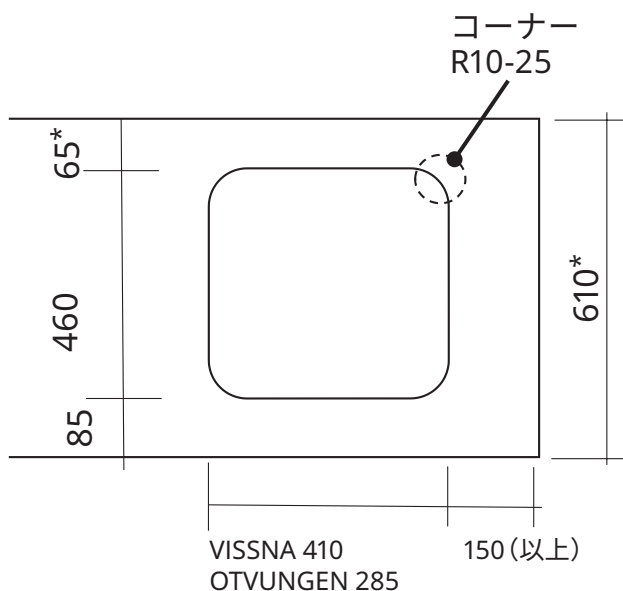
1口コンロ



2口コンロMETOD用



2口コンロKNOXHULT用



* 巾木をよけて壁から前に出して設置する場合、ワークトップの奥行き調整が必要です。

** OTVUNGENはキャビネット上部前側の桟を10mm程切り欠く必要があります。

便利なサービス

イケアでは、配送や組み立てなどの便利なサービス（有料）をご用意しています。詳しくは、イケアのウェブサイトをご覧ください。

>>> www.IKEA.jp/services